令和7年度 第5回牧区地域協議会

日時:令和7年8月21日(木) 午後6時30分~ 会場:牧区総合事務所 3階 301会議室 次 第 (1) 令和7年度地区懇談会の開催結果(概要)について・・・・・・・・資料No.1 (1) あらゆる人が安全・安心に住み続けたい「牧づくり」について・・・・資料No. 2

5 その他(連絡事項)

(1) 次回会議の開催予定日について

6 閉 会

1 開 会

2 挨 拶

3 報告事項

4 自主的な審議

令和7年度地区懇談会の開催結果(概要)について

1 参加者数

日時	会場	参加者数		
			男性	女性
8月5日 (火) 19:00~20:00	原集会所	10 人		
		/ (8人	2 人
	棚広新田集会所	6人	5 人	1 1
			5人	1人
8月6日 (水) 19:00~20:00	川上会館	9人 [
		·	9人	0人
	沖見会館	10 人		
			10 人	0 人
8月7日 (木)	サコミューティプラボ	17 1		
19:00~20:00	牧コミュニティプラザ	17 人	16 人	1人
	計			
		52 人	48 人	4 人

2 主な意見

右別表のとおり

3 今後の対応

(1) 出された意見・要望への市の対応

各会場で出された暮らしに関わる意見・要望について、市で対応できるものは速やかに実施するほか、検討や調整を要するものは引き続き対応していく。

(2) 開催結果の区内共有

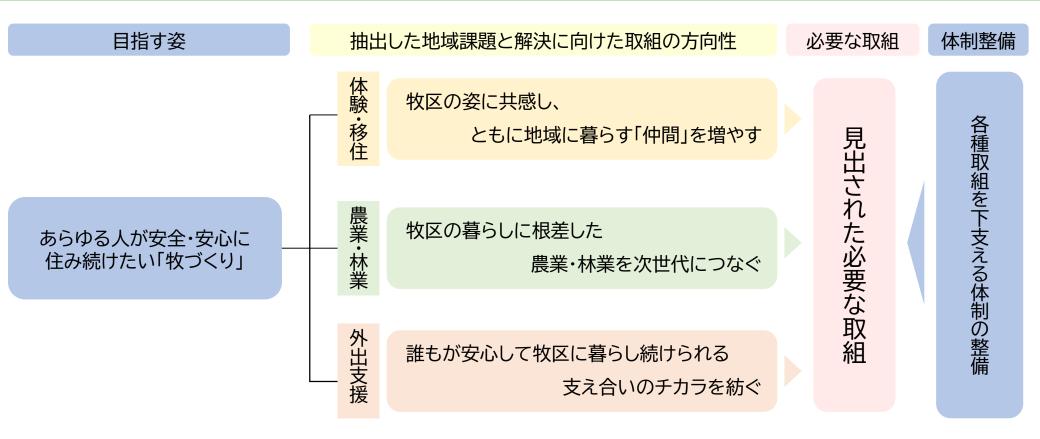
出された意見とこれに対する市の回答・対応を資料にまとめ、町内会長便による回覧にて 情報共有する。

(3) 牧区地域協議会における自主的審議事項での活用(牧区地域協議会への提案)

「話題提供」として牧区地域協議会の審議状況を伝えたこともあり、自主的審議事項に関連する取組の提案や意見が複数出されたことから、牧区地域協議会において今後の審議に活用していただきたい。

【別表】地区懇談会で出された主な意見等

区分	意見等	市の回答(当日)
 体験・移住	① 町内会では空き家が増えている。	活用可能な空き家や町内会のルール
下吸 19 L	移住者の受入れにもつながるので、	といった情報は、移住者受入れを進め
	活用を考えていく必要がある。	るに当たっての重要な基盤情報である
	② 移住者が町内会の規約をよく理	ので、町内会の皆さんからも協力いた
	解していなかった例があった。ルー	だきながら、整備を進めていく必要が
	ルはあらかじめ知らせておく必要	あると考えている。
	がある。	
HI MA LI MA		
農業・林業	① ヨモギの栽培・出荷に取り組んで	① JAえちご上越に相談する。ヨモ
	いるが、葉こきと乾燥が大変。その	ギは旺盛な需要があると聞いてお
	まま出荷できるようになってほし	り、生産拡大は農地保全にもつなが
	V)	ると考えられる。
	② 移住者の呼び込みに力を入れる	② 定住支援コーディネーターが窓口
	とのことだが、自分の農業を継いで	となり、就農希望者とのつなぎ役に
	くれる人を呼び込んでほしい。	もなりたい。市内でも、移住した若者
		が指導を受け、そのまま経営を引き
		継いだ例がある。
外出支援	① 予約型コミュニティバスは一度	① 引き続き、積極的にご利用いただ
	乗り始めると便利で大変ありがた	きたい。
	V V _o	
中学校の利活用	① 区内の公共施設はどれも老朽化	牧区地域協議会において今後審議い
	しており、中学校に集約しては。	ただくことになっており、提案を参考
	② スポーツ施設としての転用や学	にさせていただきたい。
	生寮、宿泊施設としては。	
	③ 企業に貸し付けては。	
 その他要望等	① 携帯電話の電波が全く入らない	① 市の担当課に確認する。各キャリ
	場所があり、電波環境の改善を要望	アのホームページで電波改善要望が
	してほしい。	出せるので、要望してほしい。
	② 除雪作業によると思われる道路	② 具体的な場所を示していただけれ
	の損傷個所が複数あるので、対応を	ば、道路管理者におつなぎする。
	お願いしたい。	
	③ 高齢化が進み、集落内の草刈りが	③ 負担軽減の観点から、市道管理に
	困難になっている。市道草刈りでも	おいても除草剤が使用可能となるよ
	除草剤を使用できるようにしてほ	う、担当課に提案する。
	LV.	



牧区地域協議会の役割

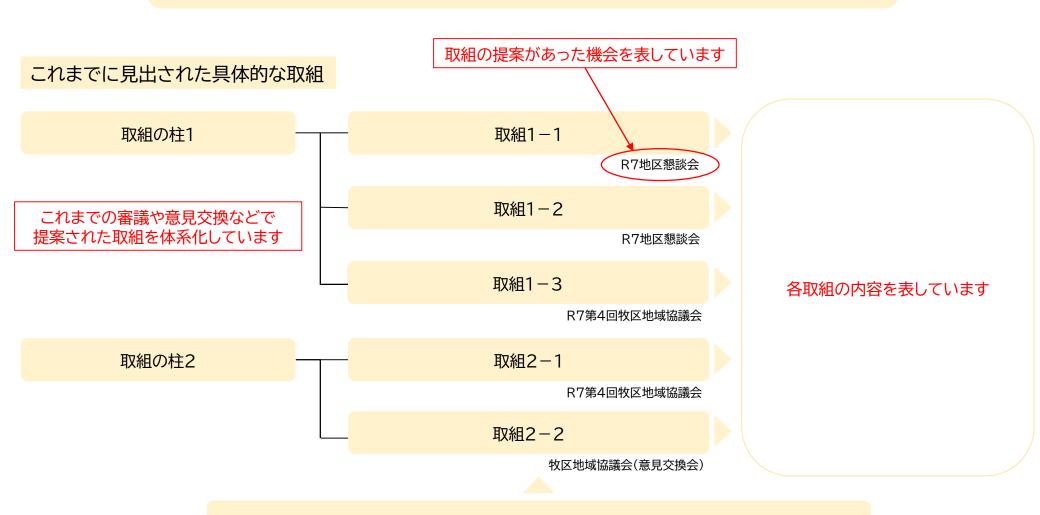
- 1. 把握した地域課題の解決に向けて地域内で話し合いを進め、必要な取組(解決策)を見出す
- 2. 見出した必要な取組の主体となり得る人・団体(市を含む)に対して取組を促すべく、地域内での調整を行う
- 3. 見出した必要な取組の展開状況を把握し、必要に応じて取組の見直しなどを行い、目指す姿の実現を図る



これまでの審議や取組、意見交換会や地区懇談会を通じて得られた意見を元に、 牧区の目指す姿の実現に向けて必要な取組をテーマ別に具体化する テーマの名称

次ページ以降の取組体系化資料の見方

テーマの取組方向性を表す一言(ワンフレーズ)を表しています



自主的審議事項 あらゆる人が安全・安心に住み続けたい「牧づくり」について

体験·移住

牧区の姿に共感し、ともに地域で暮らす「仲間」を増やす

これまでに見出された具体的な取組

牧区体験コンテンツの強化

「仲間」を受け入れる態勢の整備 区内で活用が可能な空き家の情報整備 R7地区懇談会 移住者を受け入れたい町内会の情報収集 R7地区懇談会 牧区に移住した人との意見交換 R7第4回牧区地域協議会

牧区の暮らしそのものに触れる体験機会の企画

R7第4回牧区地域協議会

仲間づくりに関わる若者とベテランの連携促進

牧区地域協議会(意見交換会)

区内の空き家を調査し、活用可能程度 (売買、賃貸、リフォーム可否など)を把握 してデータベース化する

町内会の特徴のほか、共同活動や負担金 の種類・金額等に至るまでの情報を収集 し、データベース化する

牧区のどんなところに魅せられて移住を 決めたのか、実際に移住した人の声を聴 き、情報発信の基礎を固める

実際に牧区に関心を持ってくれた方が、 牧区の暮らしそのものに触れる機会を企 画し、共感の深化を図る

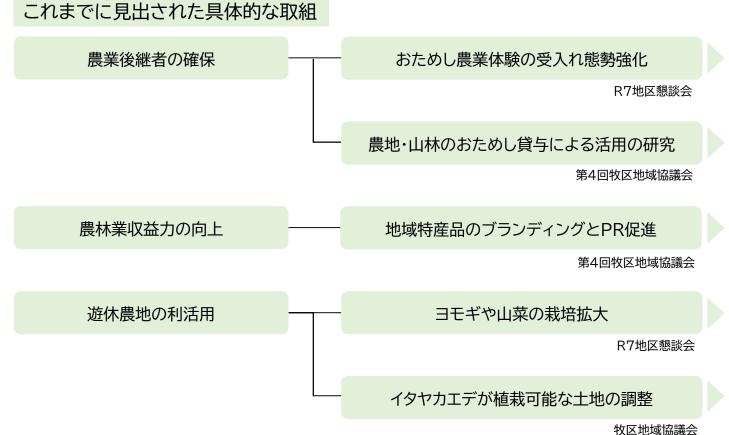
牧区の暮らし体験の企画・実行態勢を強 化するため、これまでの知見を有するベ テランと熱意ある若者との連携を促す

定住支援コーディネーターと集落づくり推進員の連携による情報収集や地域の活動支援

自主的審議事項 あらゆる人が安全・安心に住み続けたい「牧づくり」について

農業·林業

牧区の暮らしに根差した農業・林業を次世代につなぐ



農業後継者の確保につなげるため、牧区 をフィールドにしたおためし農業体験の 受入れ態勢を強化する

牧区にある農地や山林をおためしで借り 受けたい人を募集し、活用してもらうた めの方策を研究する

棚田米や雪太郎大根、雪下キャベツ、 メープルシロップ、ぴりっ子などの特産 品を牧区ブランドとして販売促進するほか、ふるさと納税返礼品登録を推進する

需要が旺盛なヨモギや人気が高い山菜 を栽培拡大するための態勢を整え、収入 確保と農地保全の推進につなげる

耕作放棄地となった農地でイタヤカエデ の植栽に適した場所について、そのため の土地利用調整を行う

外出支援

誰もが安心して牧区に暮らし続けられる支え合いのチカラを紡ぐ

これまでに見出された具体的な取組

高齢者の幅広いニーズに応じた外出支援
牧区地域協議会

ご近所で一緒に出掛ける支え合い体制づくり
第4回牧区地域協議会

予約型コミュニティバスの利用促進
R7地区懇談会

中学生・高校生の居場所づくり
第4回牧区地域協議会

特定非営利活動法人牧振興会が実施している高齢者の買い物支援を多方面に 展開するための研究・協議を行う

ご近所の高齢者と温浴施設などに一緒 に出かける機運を高めるとともに、取り 組む人への支援策を研究する

予約型コミュニティバスをもっと気軽に 使えるよう、実際の利用例などをPRし、 高齢者以外の人への利用促進を図る

学校帰りなどで家族の迎えを待つ間、自習や友人との交流などができる「学生の居場所づくり」を研究する

高尾集落で行われていた「お茶飲み散歩」のように、気軽に誰もが参加できる お茶飲み会の実施について研究する

R7地区懇談会

気軽に集まれる地域の茶の間づくり